

一般質問

5人の議員が

市政を問う

一般質問とは

議員が、市政をチエックするために、市の事業や事務、将来に対する考え方などを質問します。

いろいろな提言や行政への指摘を行い、問いただすこともあります。

質問の範囲は、市政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

P 6 星野 安久 議員

- 渋川市の真の未来構想は

P 6 加藤 幸子 議員

- 条例等の改正・制定について
- 子育て支援について
- 古巻地区に関する問題について
- 高齢者の足の確保について

P 7 山崎 雄平 議員

- 鳥インフルエンザの発生に対する対策は
- 渋川市のソーラーシェアリングへの取り組みについて

P 7 茂木 弘伸 議員

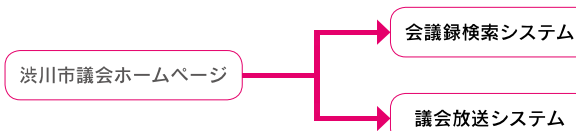
- 自治会要望について
- 防災行政無線について

P 8 角田 喜和 議員

- 経費削減対策について
- 国民健康保険の県一本化による弊害と加入者負担はどう変わるのか
- 一級河川の崖崩落と安全対策について

一般質問の詳しい内容は会議録またはインターネット録画配信をご覧ください。

渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問



星野 安久

伊賀市の真の未来構想は

合併により生まれ変わった新伊賀市。市民みんなで未来を考えなければならぬ。人が住み続けたい。人がまぢづくりについて何う。

質問 上信自動車道開通の見直しと周辺整備としての道の駅、まぢおこし構想は。

建設部長 上信道の県事業は平成31年度の完成が見込まれています。道の駅については、全体構想の見直しを行う中で、地域活力の向上に資する整備に努めます。

質問 市の幹線道路計画と吉岡町との道路連結の見直しは。

建設部長 交流・連携を促進する快適な道路ネットワークを形成するため、(主)前橋伊香保線吉岡バイパスの延伸道路の実現を目指します。

質問 荒廃農地対策としての都市交流の考えは。

農政部長 地場産品などの都市住民へ向けた情報発信、収穫体験や直売所で農産物の販売を行う中で、都市との交流を進め、取り組んで行きたいと考えています。



建設中の上信自動車道

質問 町の活性化のため、大型店舗誘致・進出の考えは。

商工観光部長 大型店舗の出店には、農地等の大規模な開発を伴う場合が考えられますので、誘致に際しては、関係部門と十分協議・調整を図っていきます。

質問 新庁舎建設の場所ならびにその時期は。

総務部長 候補地は、交通環境や地理的要因を考慮しつつ、庁内で検討を進めています。建設時期は、地方債負担等財源を考慮し、平成41年前後を想定しています。



加藤 幸子

市民のくらしを守る市政を

狭あい道路等の整備要綱改正を

質問 過去に市と協議せず自主後退した民地の道路は、現在の要綱では整備できない。西宮市では要綱を改正し、過去に遡って整備しているが、市の要綱改定の考えは。

建設部長 現在の要綱では、協議をせず自主後退をした私道は整備の対象外であるため、制度の趣旨を踏まえた上で要綱の改正について検討します。

質問 JR八木原駅周辺整備について計画の進ちよく状況は。

建設部長 平成28年度に作成した基本構想図により、JR東日本高崎支社と自由通路及び橋上駅舎の協議を進めています。

障害者・高齢者の足の確保を

質問 社会福祉協議会(社協)の買い物弱者タクシー送迎補助の利用者に対し、市も補助できないか。福祉タクシー券の交付枚数を24枚から元の36枚に戻せないか。

保健福祉部長 支え合い買物事業は社協が自主財源で実施していますが、情報交換して連携を検討し

ていきます。また、福祉タクシー

は実績や他の福祉サービスとの公平性をみて検討していきます。

質問 伊香保タウンバス2号線の9時台の運行を増やし、バス停「峠三差路」は傾斜地で乗降しにくいので体育館入口に移動を。

市民部長 運行時間の増便やバス停の移動については、定期利用をしている方もいますので、利用状況の確認や周辺住民からの聞き取りを行い、利用者の安全の確保と利便性の向上を目指し、委託業者を交えて検討します。



伊香保の峠三差路バス停

一般質問

※防疫：感染症の流行を防ぎ、またその侵入を予防するための対策をいう。



山崎 雄平

農地での発電と農業生産、 両立させる可能性は

質問 農地に太陽光発電パネルを設置し、農業生産と発電を両立させるソーラーシェアリングについて、渋川市の考えは。

農政部長 優良農地に設置することから、営農における収量や品質の確保などさまざまな条件があり、農地の状況や農業効率を踏まえて調整する必要があると考えています。

質問 県内及び市内でソーラーシェアリングに取り組んでいる事例はあるか。

農政部長 県内の件数は平成29年3月末時点で138件、市内では平成29年10月末現在、設置はされていない状況です。

質問 農地への太陽光発電設備の設置申請はどうか。

農政部長 農地法に基づく一時転用許可申請と営農の適切な継続が確保されることを証明する追加書類の提出が必要となります。

質問 東アジアで発生した鳥インフルエンザ。鳥だけでなく人への被害も出ている。さまざまな事態

が予想されるが、市の認識は。

農政部長 日ごろからの飼養管理の徹底により発生防止に努め、万が一発生した場合は、初動防疫を開始し、早期終息により被害を最小限に抑え、まん延を防ぐことが重要と考えています。

質問 鳥インフルエンザ発生に対する備えは。

農政部長 研修会や防疫実地演習への参加、また県との打ち合わせ会議の開催、国内外の発生情報を共有し、発生した場合に備えた初動防疫態勢に努めています。



農業生産をしながら太陽光発電



茂木 弘伸

自治会要望と 防災行政無線難聴対策

自治会要望への対応について

質問 毎年度、自治会から道路や側溝整備、近隣住民が集う公民館、住民センターの修繕等、要望があると思うが、昨年度の達成率は。

建設部長 自治会要望に対しての達成率は53・1%で、その他随時要望の達成率は74・9%です。

質問 平成29年9月定例会で生活道路等緊急整備事業の予算として5000万円の追加補正が可決され、早速、市内各所で工事が施工されている。生活道路が良くなつて市民は喜んでいる。この事業を来年度も継続してもらいたいが、考えは。

市長 身近な生活環境の整備を行い、市民に寄り添った事業として予算を確保し、スピーディーに対応できるように、来年度も継続していきたいと考えます。

防災行政無線の難聴対策について

質問 防災行政無線が聞こえない、聞きづらいという声が市民から寄せられているが、対策は。

総務部長 担当職員が現地で確認

を行い、放送が聞き取りにくい場合は、ほととマップメールや自動応答サービスの利用をお願いし、全く聞こえない場合は、戸別受信機の設置を検討します。

質問 屋外拡声機器の設置は多額の費用を要するが、戸別受信機は比較的安価である。戸別受信機の設置を積極的に推進すべきではないか。

総務部長 現在の設備は、屋外拡声子局と戸別受信機を比較検討して整備してきました。今後そのような視点で検討します。



生活道路等の整備の継続を

一般質問



角田 喜和

吾妻川左岸の崖崩落の危険と対策は

質問 吾妻橋から下流の吾妻川護岸が崩れて危険な状況になっている。市単独では解決できない。県と協議を行うなど、河川管理者である県への働きかけは。

建設部長 浸食等による護岸の崩落対策は県により整備済みです。現在の崖の崩落は、風化等によるものと考え、現行の施策での対策は非常に難しいと考えます。

質問 崩れている護岸には雨水排水管が設置されており、崖との間にすき間が2m近く生じている。また、隣の墓地では崖崩れで墓1基が崩れ落ちたと聞いている。安全対策はどうするのか。

建設部長 排水管は旧子持村当時に整備されたもので、この排水管について特に支障はないと思いますが改めて調査したいと思います。

国保、県一本化後の負担は
質問 国保の仕組みが平成30年度から大きく変わる。国保税の資産割廃止など課税の見直しにより、加入者の税負担はどう変わるか。

市民部長 平成30年度は財政の仕



崖崩落により排水管露出

組みが大きく変わることから税負担が増えることも減ることも考えられますが、この機会に資産割の廃止も検討しています。なお、税負担については、県の算出する標準保険料率等を見直します。
質問 国保加入世帯は所得水準の低い人が多い。厚生労働省の実態調査でも明らか。市独自で減免ができる。周知の考えは。
市民部長 独自減免は、生活が著しく困難となった場合に実施するものなので、納税相談や生活保護の相談時等に周知します。



議会往来

11月

- ▽6～8日 議会運営委員会が長崎県諫早市、大分県大分市へ行政視察
- ▽9日 兵庫県加古川市議会が視察来庁（フォトリポ澁川について）

1月

- ▽18日 沼田市議会と合同研修（住宅密集地及び飲食店の防火対策に係る澁川広域消防本部の取り組み）
- ▽19日 大分県大分市議会が視察来庁（学校給食費完全無料化）
- ▽23～24日 教育福祉常任委員会が静岡県藤枝市、静岡県掛川市へ行政視察

台湾の員林市から表敬訪問がありました

平成29年11月30日、台湾の員林市の訪問団が、交流のために澁川市へ表敬訪問に見えました。

澁川市と員林市は平成27年に観光分野における友好協力協定を交わしています。

交流会には全議員が参加し、両市の友好を深めました。



澁川市議会議長（左）と員林市長（右）